

参考資料

令和6年1月5日
徳島市消防局

令和5年における徳島市の火災・救急概要（令和4年との比較）

【火災について】

出火件数は68件（対前年比10件減、12.8%減）となっております。
なお、焼損面積は増加し、損害額も増加しています。
また、火災による死者数の増減はなく、負傷者数は減少となっています。

【救急について】

出動件数は14,441件（対前年比675件増、4.9%増）、搬送人員は12,563人（対前年比667人増、5.6%増）となっています。

◎ 出火件数は68件、対前年比10件の減少

出火件数は68件となり、前年に比べると、10件の減少となっています。これは約5.4日に1件の割合で火災が発生したことになります。

◎ 焼損床面積 1,893㎡ 前年より増加 損害額 101,833千円 前年より増加

建物の焼損床面積は1,893㎡となり、前年に比べると、549㎡の増加となっています。

損害額は、101,833千円となり、前年に比べると、12,373千円の増加となっています。

なお、調査中の火災は除いています。

◎ 出火原因の第1位は「たき火」、「たばこ」

出火原因別にみると「たき火」11件（対前年比増減なし）、「たばこ」11件（対前年比3件増）となっています。

なお、原因を調査中の火災2件は、件数から除いています。

◎ 火災による死者は2人、対前年比増減なし、負傷者は11人、対前年比1人の減少

死者は2人（対前年比増減なし）で、ともに住宅火災で発生しております。

負傷者は11人（対前年比1人減）となっています。

☆ 救急出動件数及び搬送人員は過去最多

救急出動件数は14,441件、搬送人員は12,563人となり、前年に比べると、出動件数は675件の増加、搬送人員は667人の増加となっています。

1日の平均出動件数は約40件であり、これは約36分に1回の割合で出動したことになります。

なお、これまでの救急出動最多件数は、令和4年の13,766件で、搬送人員は11,896人でした。

☆ 事故種別出動件数

事故種別の内訳をみると「急病」9,154件（構成比：63.4%）、「一般負傷」2,087件（構成比：14.5%）となっています。